

令和3年度第3回愛知県環境審議会廃棄物部会会議録

1 日時

令和3年11月25日（木）午前10時から正午まで

2 場所

愛知県東大手庁舎1階 105会議室

3 出席者

委員5名、専門委員3名（うちオンライン参加委員2名、専門委員2名）
説明のため出席した者16名

4 会議の概要

（1）開会

ア 会議開催の定足数について

定足数を満たしていることが確認された。

イ あいさつ

近藤資源循環推進監

渡部部会長

ウ 傍聴人について

なし

エ 会議録の署名について

渡部部会長から、永瀬委員及び安田委員が会議録署名人に指名された。

（2）議事

ア 次期愛知県廃棄物処理計画の策定について

イ 報告

愛知県災害廃棄物処理計画の改定について

ウ その他

特になし

事務局から資料説明し、別記のとおり質疑応答が行われた。

（3）閉会

1 議事

(1) 愛知県廃棄物処理計画の策定について

- ・資料1 前回の廃棄物部会における委員意見等への対応について
 - ・資料2 愛知県廃棄物処理計画（案）
- について、事務局から説明した後、質疑応答が行われた。

<質疑応答>

※資料1、資料2の説明後

【谷川委員】

循環利用率の説明は非常にわかりやすい。さらに、P96 図4 物質フローのイメージ図について、現行計画の指標（出口側の循環利用率）がどの部分の数値を示しているのか、入口側の循環利用率がどの部分の数値を示しているのか、図に可視化するといいいのではないか。

【事務局】

物質フローについて、わかりやすくなるよう用語の説明や、図に取り込むように改善していく。

【永瀬委員】

現計画では、新規取組や取組の強化を入れており、わかりやすい。次期計画も同じように整理してはどうか。

【事務局】

次期計画についても、新規取組や取組の強化がわかるように記載を工夫したい。

【永瀬委員】

P51にPCB廃棄物の記載があるが、現行計画と同一の記載内容となっている。PCBの処理は全く進んでいないような印象を受けてしまう。

【事務局】

高濃度PCBについては、安定器は今年の3月末、トランス・コンデンサーは来年の3月末までに処理を行う必要があり、処理を進めている。低濃度PCBについては、令和9年3月末までに処理を行うこととなっている。そこまではPCBの処理が継続することから、現行の記載内容を踏襲している。

【永瀬委員】

処理は段階的には進んでいるのではないか。次期計画においては進捗に併せて記載内容

を変えるべきではないか。高濃度PCBについては現計画期間で処理は終わっているのか。

【事務局】

来年の3月では処理期限が終わっているが、期限内に処理が完了しなかったものについて対応が必要となる。

【永瀬委員】

高濃度については、ほぼ処理が完了しているのであれば、次期計画の期間内においては、低濃度の処理について記載する必要があると考えるが、低濃度の処理について記載できない理由があるのか。

【事務局】

高濃度のPCB処理については、令和5年3月末まで処分の完了を目指して取組を進めている。進捗状況に合わせて記載内容を見直したい。

【永瀬委員】

前計画と同じ記載では、取組が進んでいないとの印象を受けてしまう。進捗にあわせて、記載内容を検討してほしい。

【佐藤専門委員】

プラスチックによる海洋汚染について、対応策についてはよくわかった。河川からの流入が海洋汚染の原因といわれているが、河川から三河湾や伊勢湾等にプラスチックごみがどう流れていくのか、海洋汚染につながる原因の分析を進めるべきではないか。ごみの排出抑制をしましようという啓発は簡単であるが、海や川から離れた住民からすると、なぜポイ捨てが海洋汚染につながるか理解が進まない。将来的な課題として、海洋汚染の実態把握を行い、対応策を検討していく必要があると考える。

産業廃棄物の最終処分量について、できるだけ抑えていくということはわかるが P18 のとおり 2019 年度の発生量に占める最終処分量の割合は、3.7%となっている。2026 年度には何%になる目標を設定しているのか。環境省の調査によると国全体の平均は約3%である。現状愛知県は3%に至っておらず、全国平均より低い数値となっている。現在の目標設定は全国平均を達成する目標設定なのか。

【事務局】

プラスチックごみの排出実態の把握は非常に重要であると認識している。現状国でも知見が集積されておらず、実際にどのようにプラスチックごみが拡散しているか把握できていない。今回「プラスチック資源循環促進法」が成立し、生産段階から廃棄に至るまで、環境配慮をもとにした製品設計をしようという考え方がある。国の動向を注視しながら、一般廃棄物の収集体制の確立等を図っていくとともに、発生の原因分析の情報収集を進めてい

きたい。

発生量に占める最終処分量の割合は3.0%で目標設定しており、国の平均を目指した目標設定となっている。

【岡本委員】

資料1の別紙にあるプラスチックごみ削減のための消費者に対するパンフレット等の作成について、内容の充実を図ってほしい。作っただけでは意味がない。どのような内容で伝えていくのか検討してほしい。消費者の取組が廃棄物の削減にどう関わっていくのか、わかるような内容にしてほしい。食品ロスや、プラスチックごみの話題は消費者も興味があるテーマである。話題性のあるテーマをうまく活用した啓発を行ってほしい。どう消費者に届けるのかも重要である。新たに引っ越してきた方へのごみ分別方法の周知や、長く住んでいる方に市町村の分別方法の変更をどのように伝えていくのか、も課題である。より効果的な啓発方法を検討してほしい。

【事務局】

パンフレットについては、従前から3R等の周知のために作成している。近年話題となっている、食品ロスや海洋汚染の問題も追加して更新している。しかし、県民の皆様にごどのように伝えていくのかは苦慮しているところである。一般廃棄物の分別収集の主体は市町村であることから、市町村に活用いただけるような方法を考えていきたい。プラスチック資源循環促進法の施行に伴い、分別収集の方法が変わっていく。こうした機会を捉え、市町村へ分別計画の周知徹底をお願いしていきたい。

【杉山専門委員】

気候変動の観点から見ると、国がNDCを提出し、CO₂排出量の削減目標を大きく引き上げている。一般廃棄物の焼却量の削減等で対応していくことになるが、国の削減目標との関連で、焼却量の削減を計画に盛り込んでいるのか。

【事務局】

数値目標については、定めていないが資料2のP58にあるとおり施策3「廃棄物処理施設の整備の促進」の(4)脱炭素社会を見据えた整備を掲げ、脱炭素社会の実現に取り組んでいく。

【杉山専門委員】

ごみ焼却による発電と処分量を削減していくという二つの側面は、ジレンマがあると感じる。長期的な視点で脱炭素社会の実現に向けて、どのようなビジョンを目指していくのか今後検討していく必要がある。

【渡部部会長】

今回の計画は、参考資料として用語説明等を載せないのか。今回トピックスを加え、県民に読んでもらうための工夫もなされている。トピックスのページを目次に追加することで、トピックスだけでも読んでみようと思う方もいると考えるがどうか。

【事務局】

用語解説は、巻末に参考資料としてページを設ける予定である。トピックスについては目次に加えていく。

【安田専門委員】

資料2の字が小さく見づらいところやP3やP65など図が不鮮明なところがある。見やすくなるようにしてほしい。

【事務局】

見やすくなるよう、また理解しやすいようにレイアウト等を工夫したい。

(2) 報告

愛知県災害廃棄物処理計画の改定について

- ・資料3 愛知県災害廃棄物処理計画の改定について
について、事務局から説明した後、質疑応答が行われた。

<質疑応答>

※資料3の説明後

【佐藤専門委員】

熱海の土砂災害の原因は盛り土が原因といわれている。盛り土は廃棄物に該当するのか。災害が発生しないような対策も必要と考えるが、盛り土に対して愛知県はどのように対応しているのか。

【事務局】

熱海の事例では、盛り土に廃棄物が混じっていたと報道されているが、盛り土自体は廃棄物に該当しない。本県では、盛り土に対する規制等の制度化については、建設部局で検討している。本計画は、災害発生後の廃棄物の処理をどのように行うのかという視点で作成している。

【杉山専門委員】

計画の推進に資料3の3ページ目、「3 計画の推進」に記載のある実践的な訓練とは実際にどのようなことを行っていくのか。

【事務局】

訓練については5年前から継続的に実施している。まず、市町村職員等の人事異動サイクルにも配慮し、全く知識がない方向けに、全体研修と言うことで、座学による研修を実施している。次に座学研修を受講しある程度の知識を習得した方向けに、スペシャリスト養成研修を実施している。さらに、図上演習を実施している。研修参加者に対して、具体的な発災時の廃棄物発生量等の条件を付与し、様々な課題への対応策の検討をグループワーク方式で行うものである。こうした訓練を通して、発災時の初動の強化を図っていく。

【安田委員】

資料3の3ページにある、「2 災害によって発生する廃棄物」の推計発生量のうち洪水や土砂災害の発生量についてどのような条件で算定しているのか。

【事務局】

資料3の2ページ目「3 対象とする災害等」に前提条件を記載している。具体的なイメージとしては、48時間の総雨量で木曾川が氾濫するよう雨として527ミリを想定しており、ちなみに東海豪雨の例では東海市で589ミリ程度であったと聞いている。

(3) その他

- ・事務局から追加なし
- ・委員から議題追加なし